TAJIMA METAL WORK

タジマメタルワーク

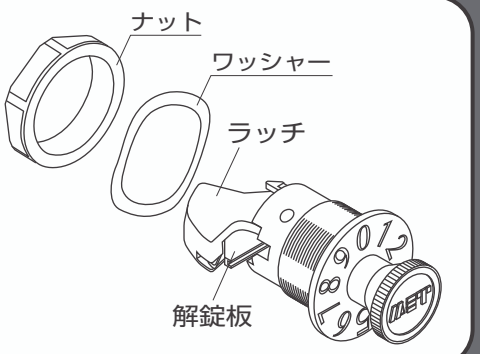
TAJIMA METAL WORK

MAILBOX KEY Catalog

田島メタルワーク株式会社

96ダイヤル錠　取付説明書

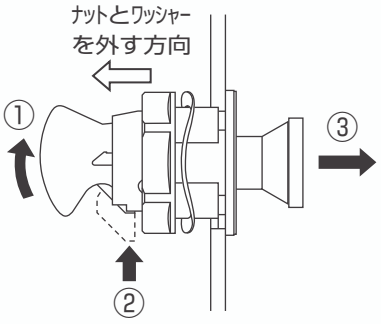
■取り外し方



1 レンチ等の工具を使ってナットを緩めます。
※カバーがついてる場合は外します。

2 ラッチを①の方向に動かし解錠板を②の方向に押し込んでナットとワッシャーを外します。

3 解錠板を押し込みながら錠前を③の方向へ引き抜きます。



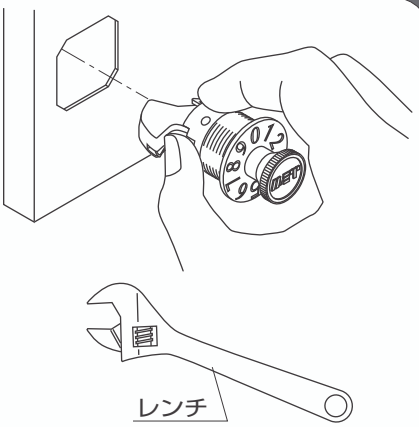
■取り付け方

1 解錠板を押し込んだまま扉の表側から取付穴にラッチをくぐらせそのまま差し込みます。(図1) 横開きの扉の場合は、ラッチは横向き、縦開きの扉の場合は、ラッチは下向きになります。
＊斜めに差し込んだり解錠板を離してしまうと錠前が取付穴にくい込む場合があります。

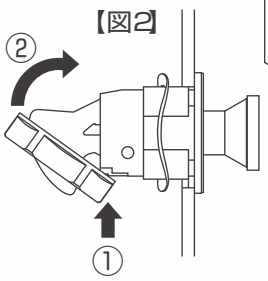
2 錠前の後ろ側からワッシャーをくぐらせます。
ナットで解錠板を①の方向へ押し込んだまま②の方向へくぐらせます。(図2)

3 錠前のネジ方向に対して水平にナットを締めます。
レンチ等の工具で完全に締め込みます。

【図1】



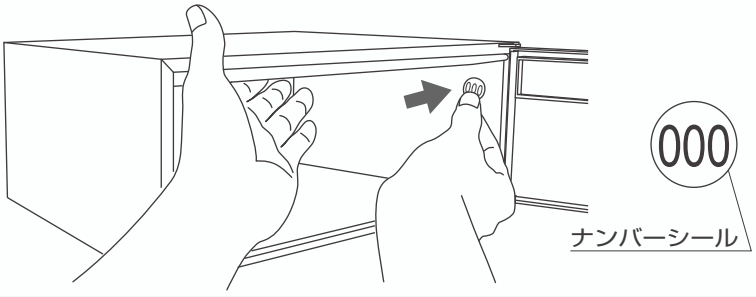
【図2】



◇ナンバーシールを貼ってください

同封の丸いナンバーシールは錠前を管理する番号です。必ず所定の位置(本体内部右側面)に貼ってください。

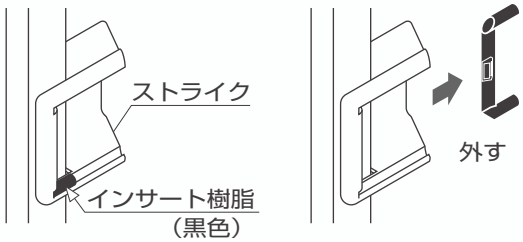
※解錠番号シールが貼ってある説明書は、保管してください。



■錠前の取り替え注意事項

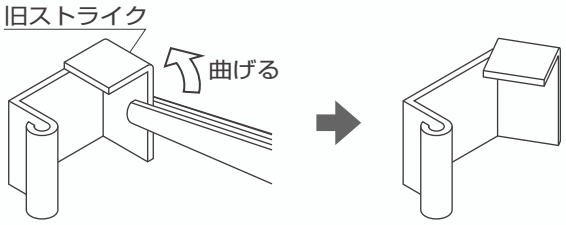
◇インサート樹脂を外します

ストライクにインサート樹脂が付いている場合は、インサート樹脂を外してください。外さないと施錠されない場合があります。



◇旧ストライクは曲げてください

旧ストライクが付いている場合は、ペンチ等の工具を使いストライクを後方に曲げてご使用ください。曲げないと錠前がストライクに当たって施錠できない場合があります。



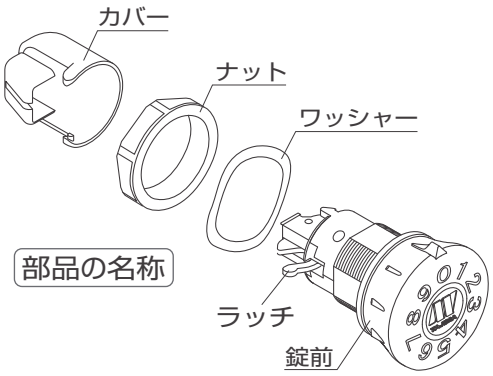
※弊社郵便受(適応型式有り)以外では使用しないでください。

田島メタルワーク株式会社

本　　社　〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル TEL03-5396-7621(代)
埼玉営業所 TEL048-291-3222(代) FAX048-297-0791　横浜営業所 TEL045-470-5388(代) FAX045-473-0207
名古屋営業所 TEL052-955-3807(代) FAX052-955-3887　大阪営業所 TEL06-6533-2071(代) FAX06-6533-2074
福岡営業所 TEL092-504-4475(代) FAX092-504-4482

'11.05

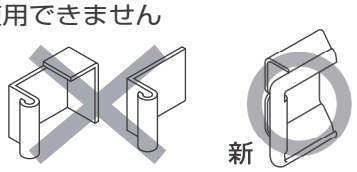
myナンバー錠　取付説明書



⚠注意 錠前を取り替える際の確認事項

◇旧タイプの鍵受けには使用できません

製品に旧タイプの鍵受けが付いている場合、本錠前を使用することができません。



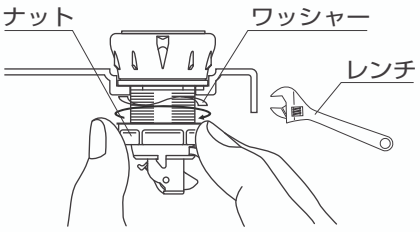
＊詳しくは弊社までお問い合わせください。

◇弊社郵便受（適応型式有り）以外では使用しないでください。

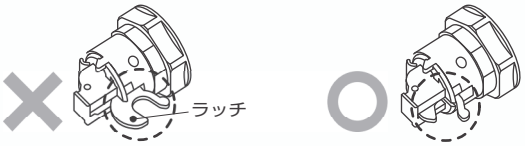
■取り外し方

1. カバーを錠前から外してください。（装着してある場合）
2. レンチ等の工具を使ってナットを緩めます。（図1）
3. ナットとワッシャーを外します。
4. 錠前を扉の表面から引き抜きます。

図1



◇ラッチがおき上がった状態で取り外すことはできません。
その場合は、指でラッチを戻してください。



ラッチがおき上がっている状態　ラッチが戻っている状態

■取り付け方

1. ラッチが戻った状態で、扉の表側から取付穴にラッチをくぐらせそのまま差し込みます。（図2）
2. 錠前の後ろ側からワッシャー、ナットの順にくぐらせます。
3. 錠前のネジ方向に対して水平になるように、ナットをレンチ等の工具で完全に締め込みます。（図1）
4. カバーの突起部分を軸穴に挟み込むようにはめてください。（図3）

図2

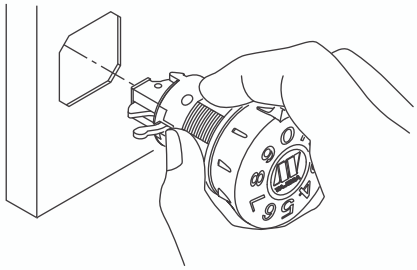
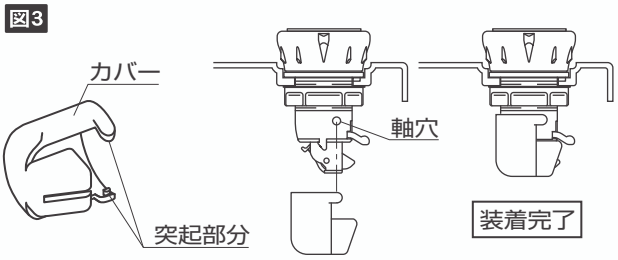


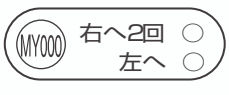
図3

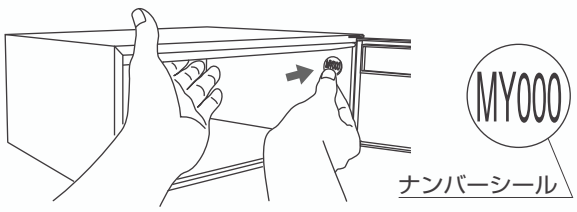


◇ナンバーシールを貼ってください

同封の丸いナンバーシールは錠前を管理する番号です。
必ず所定の位置（本体内部右側面）に貼ってください。

※解錠番号シールが貼ってある説明書は、保管してください。





田島メタルワーク株式会社

本　　社　〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル TEL03-5396-7621(代)　http://www.metalwork.co.jp
埼玉営業所　TEL048-291-3222(代)　FAX048-297-0791
名古屋営業所　TEL052-955-3807(代)　FAX052-955-3887
福岡営業所　TEL092-504-4475(代)　FAX092-504-4482
横浜営業所　TEL045-470-5388(代)　FAX045-473-0207
大阪営業所　TEL06-6533-2071(代)　FAX06-6533-2074

'11.04

暗証番号の変え方

■ 本説明書をお読みになり、操作手順をご理解のうえ新しい番号に変更してください。
■ 手順以外の操作をされますと不明の番号に設定される場合がありますのでご注意ください。
■ 変更操作後はお客さまの責任において、暗証番号の管理をお願い致します。

新しく設定する暗証番号を記入してください。

右へ2回	左へ

左へ2回	右へ

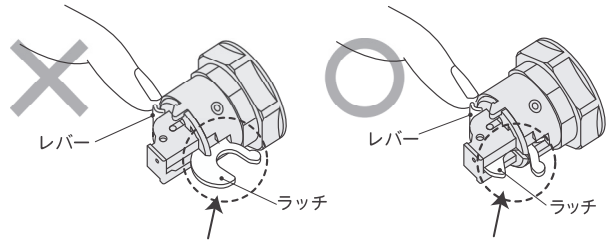
1-1、2-2など同番号や1-2、2-1など続き番号は避けてください。一回合わせただけで開く場合があります。

注意

新しく設定された暗証番号はお客さまにしかわかりません。お忘れにならないようメモをして適切に管理してください。

レバー操作の注意!!

ラッチがおき上がっている時にレバーを操作されますと全く不明の番号に設定されることがあります。



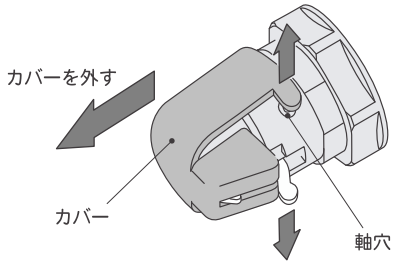
ラッチがおき上がっている時

注意 レバーを操作しないでください

ラッチが戻っている時
（レバーをおこし暗証番号を変更することができます）

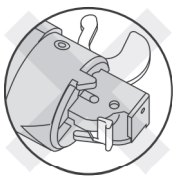
1. カバーを外してください

軸穴からカバーの突起を抜き、カバーを取り外します。

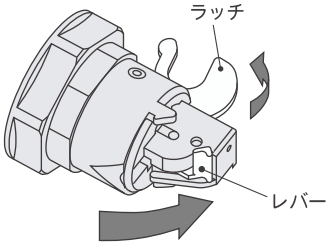


2. レバーを上げてください

レバーを可変位置（図参照）に、レバーが動かなくなるまで移動させてください。



※レバーを途中で止めないでください



レバーを可変位置に移動

3. 新しい暗証番号に合わせてください

新しく設定する暗証番号が決まりましたら、必ずメモをおとりください。

●最初の番号を同じ方向へ2回合わせ、逆方向に次の番号を1回合わせる。

新しい解錠番号

例 右へ 2回 2（親番号）
左へ 5（子番号）

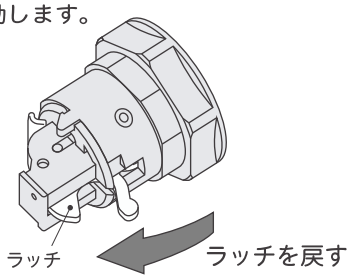
①ダイヤルを右（左）に2回まわして、2番に合わせます。
②ダイヤルを左（①の逆方向）に回して、5番に合わせます。

注意

※ダイヤルがズレないよう確実に合わせてください。
※合わせる番号を過ぎて回した場合は「最初の番号を2回合わせる」からやり直してください。

4. ラッチを戻してください

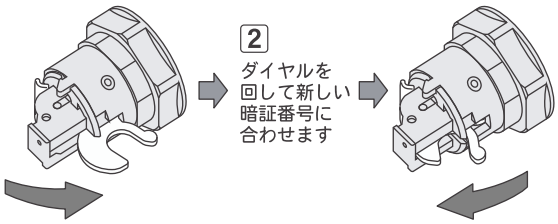
ラッチを戻します。同時にレバーも可変位置から通常時の位置に移動します。



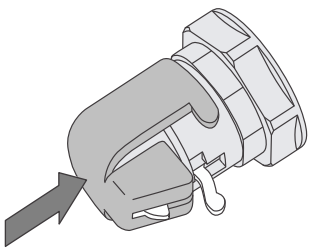
● ラッチを戻すと設定した**新しい暗証番号に変換**されます。

5. 新しい番号を確認してください

ラッチをおこし、新しい暗証番号に合わせます。
ラッチが戻れば正しく暗証番号が設定されています。



6. カバーをはめてください



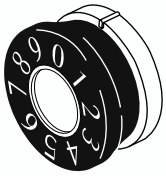
カバーをはめる

オプション錠前取扱説明書

号室のお客様

取扱説明書と異なる錠前が付いている場合は、以下に該当する錠前の説明書に目を通して頂き、使用方法をご理解の上、ご利用ください。

■ ダイヤル錠



○解錠方法

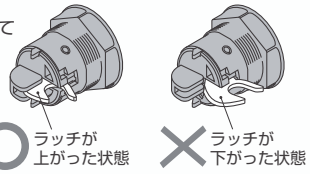
1.親番号（最初に合せる番号）を指定方向に2回、目盛に合わせます。次に子番号（次に合せる番号）を指定方向へ戻して合わせると解錠されます。

○施錠方法

1.そのまま解錠番号の状態で扉を閉めます。

2.子番号の方向へ1回転以上回すと施錠されます。

●ラッチが上がった状態で閉めてください。下がった状態では施錠されません。強く閉めると破損することがあります。



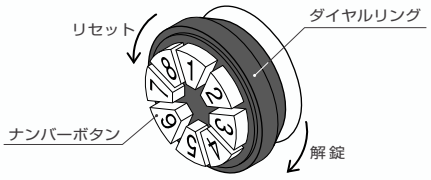
防犯注意

※暗証番号はシールに記されていますが必ず覚えておいてください。

親番号

子番号

■ オートデジタル錠



○解錠方法

1.ナンバーボタン（暗証番号）を押します。

2.ダイヤルリングを時計方向に回して引くと開きます。

※扉が開くまでは、引きながらダイヤルリングを反時計方向へ無理に回さないでください。

※暗証番号以外のナンバーが押されている場合やナンバーボタンを押し間違えた場合は、ダイヤルリングを反時計方向に回してナンバーボタンをリセットしてから操作してください。

○施錠方法

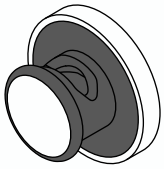
1.扉を閉めると施錠されます。

※ナンバーボタンが押されたままの状態になっている場合はリセット操作をおこなってください。

防犯注意 ※暗証番号はシールに記されていますが必ず覚えておいてください。

◀ 暗証番号

■ ラッチロック



○あける

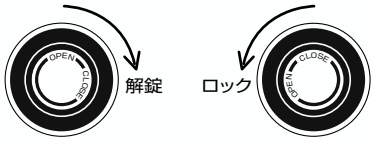
前面のつまみを時計方向に回転させ、OPENの状態で引と扉が開きます。

○しめる

そのままOPENの状態で閉めます。

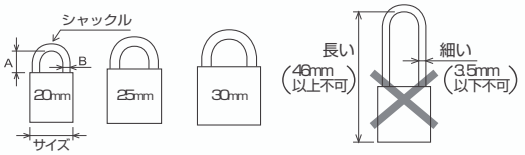
○かける

つまみを反時計方向へ回転させると扉がロックされます。郵便物を取出した後は常にCLOSEの状態にしておいてください。



○施錠の仕方

CLOSEの状態で南京錠を通してかけると施錠できます。南京錠は20～30mmの下図の形状で、つるの長くない市販品をご利用ください。



サイズ		20・25mm	30mm
寸法	A	10.5～15mm	13～16mm
	B	3.5～4.5mm	5mm

図の様な形状以外の南京錠では施錠できない場合があります。ご確認のうえご使用ください。

防犯注意 ※扉の開閉は必ずOPENの状態で行い、CLOSEの状態で無理に開閉させないでください。

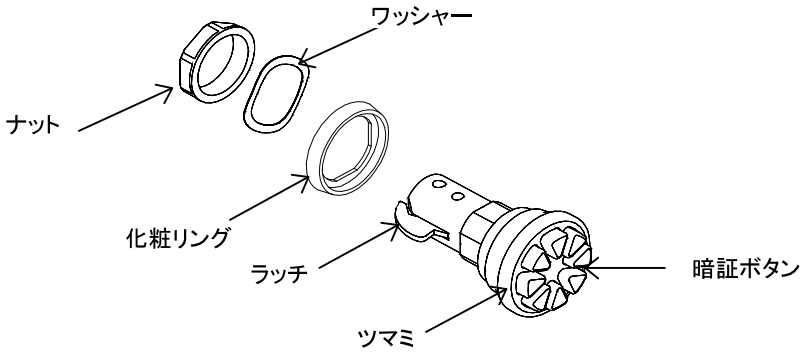
■ シリンダー錠

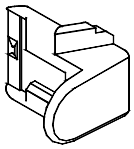
鍵穴に異物を入れたり、油を注入しますと故障の原因となりますので、絶対におやめください。

※シリコンオイルなどの潤滑油は使用しないでください。溶剤を含まないシリコンやカーボン滑走剤［鍵穴用］をご使用ください。

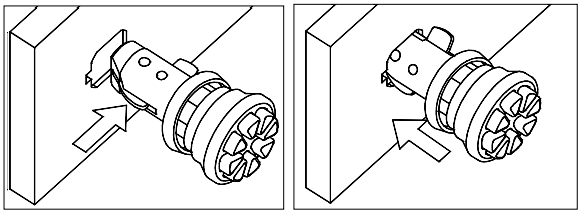
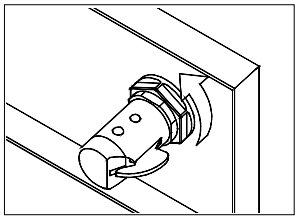
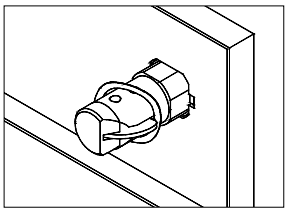
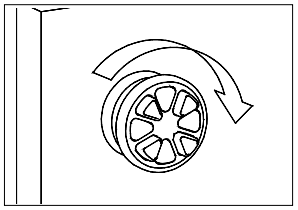
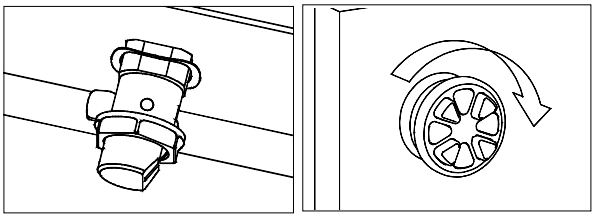
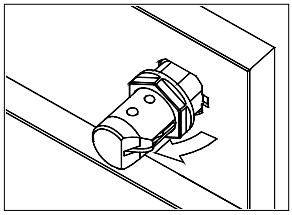
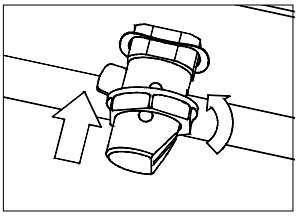
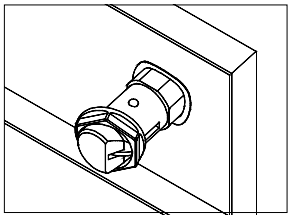
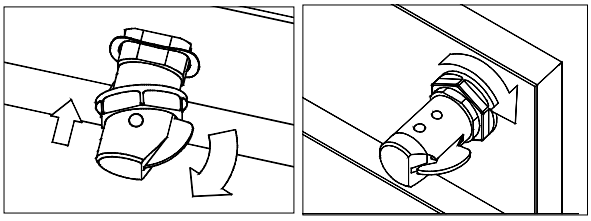
田島メタルワーク株式会社

オートデジタル錠取付説明書





ラッチ用部品
（紙バサミ防止機能付）
＜全ストライクへ装着＞

	■ 取　付	■ 取り外し
1	ラッチを錠前に押し込み　取付穴に差し込む 	ナットを緩めて外す 
2	ラッチを押してワッシャーを通す 	暗証ボタンを押してツマミを回し 
3	ナットを差し込み　暗証ボタンを押してツマミを回しながら 	ラッチを持ち上げながら 
4	ナットでラッチ後部を押し下げ ラッチの先端をくぐらせる 	ナット・ワッシャーを引き抜く 
5	ラッチの先端を上げてナットを通し ナットを絞め込む 	

シリンダー錠取付説明書

METALWORK

注意:既存の郵便受けに化粧リングが付いていない場合、化粧リングを付ける必要はありません。化粧リングを付けると施錠できなくなる場合があります。

■取付方法

1) **取付穴に錠前を差し込みます。**
錠前を取付穴にくぐらせます。（図1）

2) **ナットを差し込みます。**
錠前にウェーブワッシャー、ナットをベロ先端からくぐらせます。（図2）

3) **ナットをねじ込みます。**
錠前のネジ方向に対して水平にナットをねじ込みます。（図3）

4) **工具でナットを完全にしめ込みます。**

図1. 錠前を取付穴にくぐらせます。

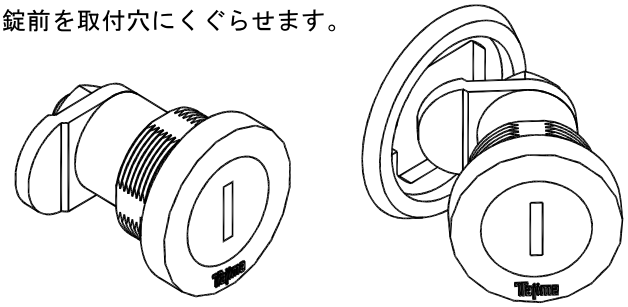
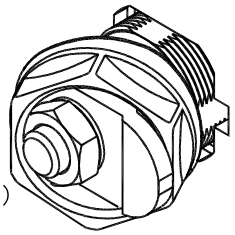


図2. ナットをベロ先端からくぐらせます。



（取付穴裏面）

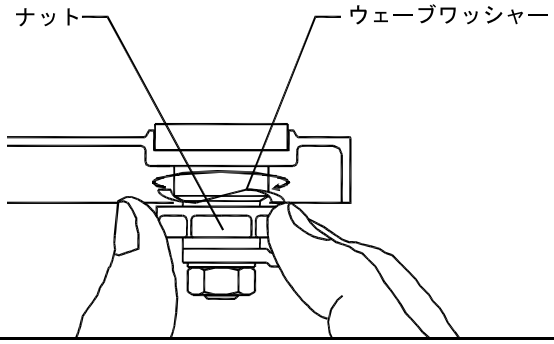
■取り外し方

1) **ナットをゆるめます。**

2) **ウェーブワッシャー、ナットを引き抜きます。**

3) **錠前取付穴から引き抜きます。**

図3. ナットをねじ込みます。



■錠前の取り替え注意事項

◇ **ナンバーシールを貼付てください**
同封の丸いナンバーシールを必ず所定の位置（差入口から覗いた本体内部右側面）に貼り付けてください。（図4）

◇ **ストライクの形状にご注意ください。**
現行ストライク以外のタイプが付いている場合は、鍵のかかりを調整する必要があります。（図5）

※ 詳しくは(別紙)錠前をご注文される前に『ストライクについて』をご確認ください。

※弊社郵便受（適応型式あり）以外では使用しないでください。

図4. 本体内部右側面にナンバーシール貼付てください

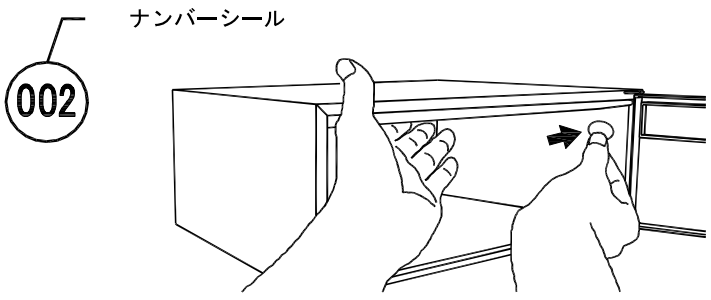
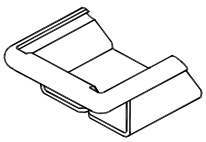
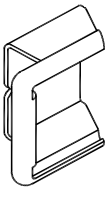


図5. 現行ストライク（1992年から製造）

タテ開き扉タイプ



ヨコ開き扉タイプ



現行ストライク以外のタイプが付いている場合は、(別紙)錠前をご注文される前に『ストライクについて』をご確認ください

錠前をご注文される前に『ストライクについて』

METALWORK

■ストライクの形状

1) **旧ストライク**(図1)
8種類あります。

2) **現行ストライク**(図2)

図1. 旧ストライク（1982年～1992年製造）

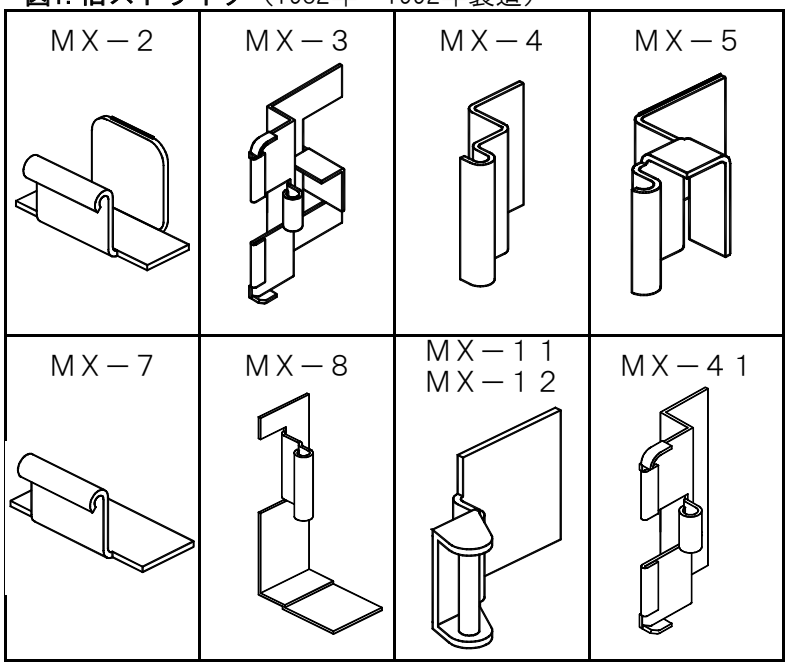
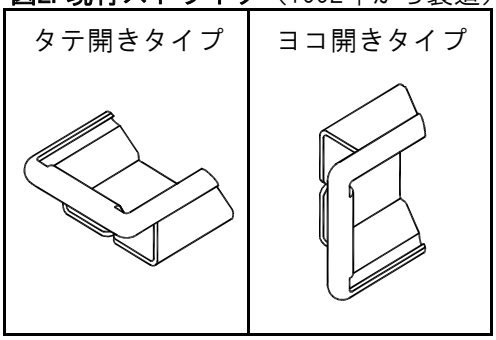


図2. 現行ストライク（1992年から製造）



■調整方法

◇ **メイルボックスの型式と錠前の組み合わせによって、旧ストライクの調整方法が異なります。**（図3）

記号(注) 当社までお問い合わせください。

記号 ☆ 旧ストライクのカール部を前後に曲げて鍵のかかりを調整してください。（図4）

記号 ★ 旧ストライクのカール部を前後に曲げて鍵のかかりを調整してください。（図4）
ＭＸ－３・ＭＸ－５の旧ストライクは、カバー部を後方に曲げないと鍵がかかりません。
（図5）

図3. 調整方法の組み合わせ一覧表

型　式	記号	錠　前
ＭＸ－２（1982年～1992年製造） ＭＸ－４（1984年～1992年製造） ＭＸ－７（1986年～1992年製造） ＭＸ－８（1988年～1992年製造） ＭＸ－１１（1990年～1992年製造） ＭＸ－１２（1990年～1992年製造） ＭＸ－４１（1988年～1992年製造）	(注)	フリーダイヤル錠
	(注)	セットダイヤル錠
	(注)	軽音ラッチロック
	☆	９６ダイヤル
	☆	旧ラッチロック
	☆	デジタル錠
	☆	プッシュラッチ
	☆	シリンダー錠
ＭＸ－３（1984年～1992年製造） ＭＸ－５（1986年～1992年製造）	(注)	フリーダイヤル錠
	(注)	セットダイヤル錠
	(注)	軽音ラッチロック
	★	９６ダイヤル
	★	旧ラッチロック
	☆	デジタル錠
	☆	プッシュラッチ
	☆	シリンダー錠

図4. カールの調整方法

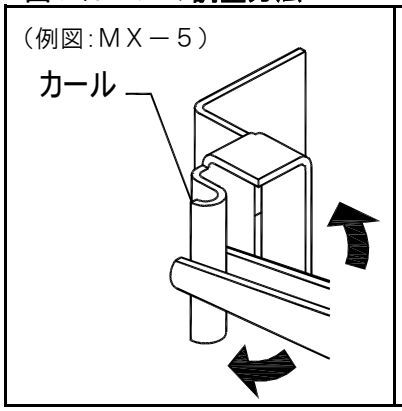
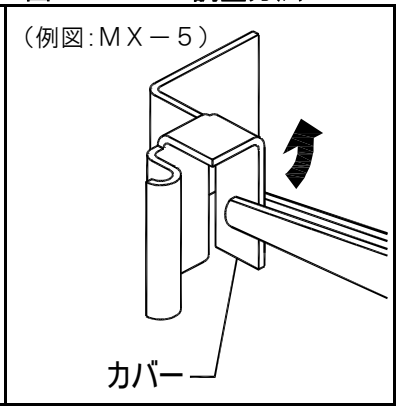


図5. カバーの調整方法



METALWORK

デジタル錠取付説明書

注意:既存の郵便受けに化粧リングが付いていない場合、化粧リングを付ける必要はありません。化粧リングを付けると施錠できなくなる場合があります。

■取付方法

1) **錠前を解錠状態にします。**
解錠番号のナンバーボタンを押し、ダイヤルリングを右に回します。回したダイヤルリングが戻らないようにリングと錠前本体を同時に指で押さえると解錠状態になります。（図1）

2) **取付穴に錠前を差し込みます。**
解錠状態の錠前をラッチ先端から取付穴にくぐらせ、穴の小口にラッチを押しつけるように錠前を差し込みます。（図2）

3) **ナットを差し込みます。**
解錠状態の錠前にウェーブワッシャー、ナットをラッチ先端からくぐらせラッチにナットを押しつけるようにはめ込みます。ナットはねじ方向と水平になるようにしめ込みます。（図3）

4) **工具でナットを完全にしめ込みます。**

■取り外し方

1) **ナットをゆるめます。**
2) **錠前を解錠状態にし、ウェーブワッシャー、ナットを引き抜きます。**（図4）
3) **解錠状態のまま、錠前取付穴から引き抜きます。**（図4）

■錠前の取り替え注意事項

◇ **さぐり防止の取付**
さぐり防止を取付けてください。
ストライクにインサート樹脂が付いている場合はインサート樹脂を外してからさぐり防止を取付けてください。（図5）

◇ **ナンバーシールを貼付てください**
同封の丸いナンバーシールを必ず所定の位置（本体内部右側面）に貼付てください。（図6）

解錠番号シール EG161 ○△□ を保管してください。

※弊社郵便受（適応型式あり）以外では使用しないでください。

図1. 解錠番号のナンバーボタンを押します

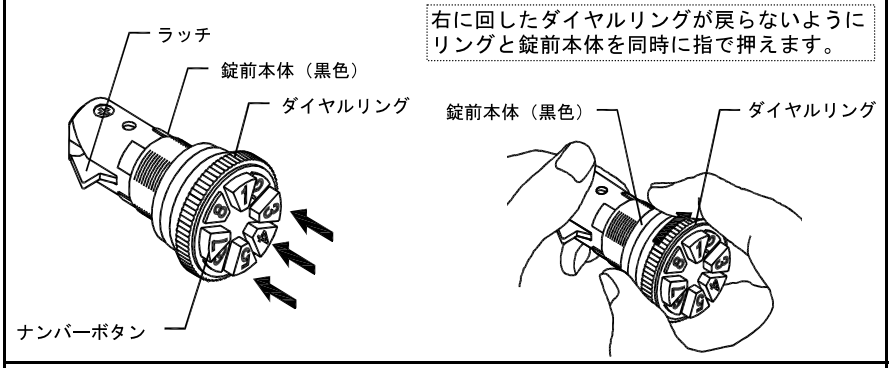


図2. ラッチ先端をくぐらせます

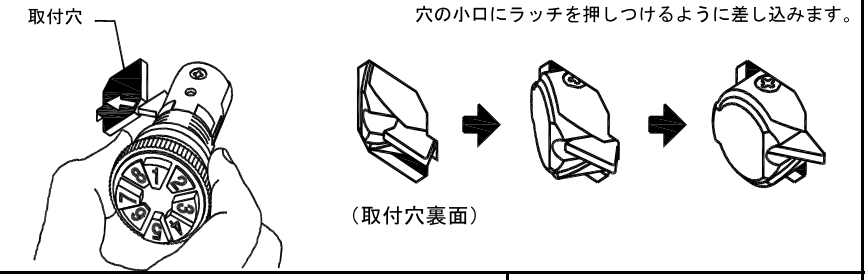


図3. ラッチにウェーブワッシャー、ナットを押しつけるようにはめ込みます

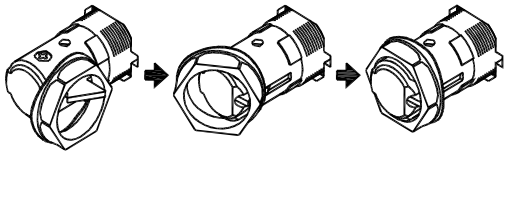


図4

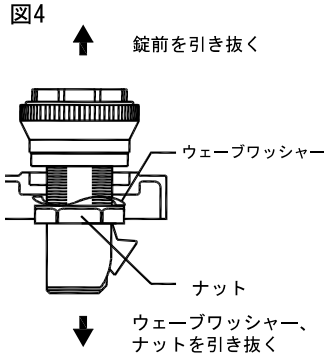


図5. さぐり防止の取付

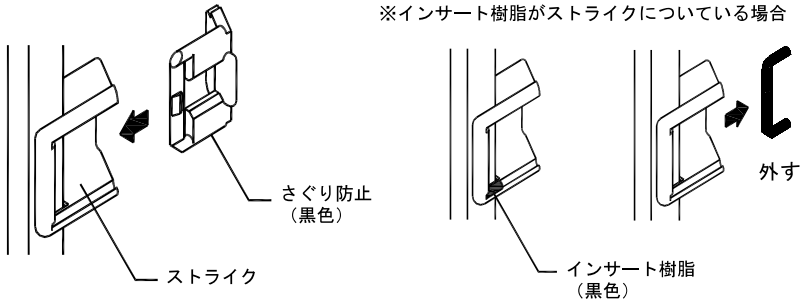
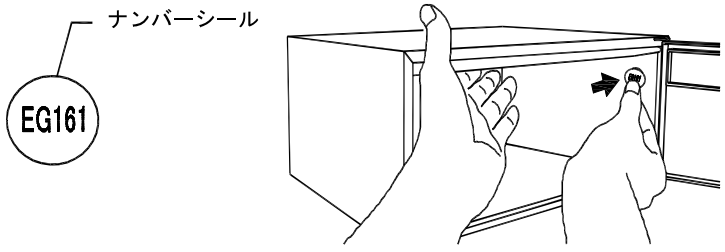


図6. 本体内部右側面にナンバーシール貼付てください



プッシュラッチ取付説明書

METALWORK

注意:既存の郵便受けに化粧リングが付いていない場合、化粧リングを付ける必要はありません。化粧リングを付けると施錠できなくなる場合があります。

■取付方法

1) **ラッチをフリー状態にします。**

正面のボタンを押してフリー状態にします。ボタンが凸になっているときがフリー状態で、ラッチが動きます。（図1）

2) **取付穴に差し込みます。（図2）**

3) **ナットを差し込みます。**
ナットをラッチ先端からくぐらせます。（図3）

4) **ナットをねじ込みます。**
ネジ方向に対して水平にナットをねじ込みます。（図4）

5) **工具でナットを完全にしめ込みます。**

■取り外し方

1) **ナットをゆるめます。**

2) **ナットを引き抜きます。**

3) **取付穴から引き抜きます。**

■取り替え注意事項

◇ **ストライクの形状にご注意ください。**
現行ストライク以外のタイプが付いている場合は、鍵のかかりを調整する必要があります。（図5）

※ 詳しくは(別紙)錠前をご注文される前に『ストライクについて』をご確認ください。

※弊社郵便受（適応型式あり）以外では使用しないでください。

図1. ラッチをフリー状態にします。

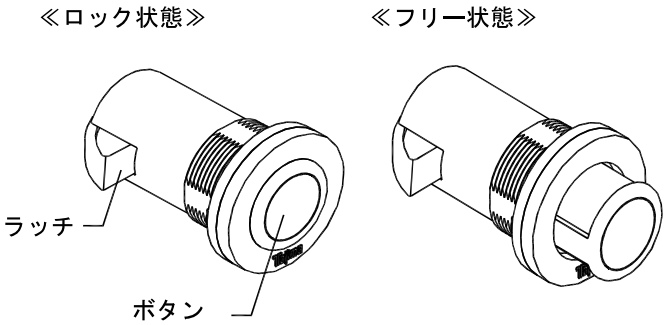


図2. 取付穴に差し込みます。

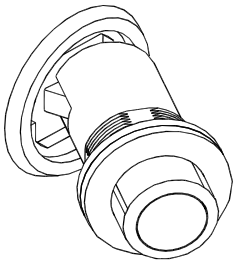


図3. ナットをベロ先端からくぐらせます。

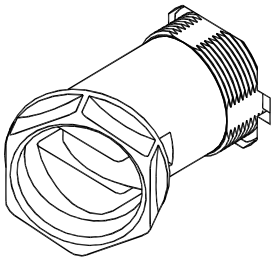


図4. ナットをねじ込みます。

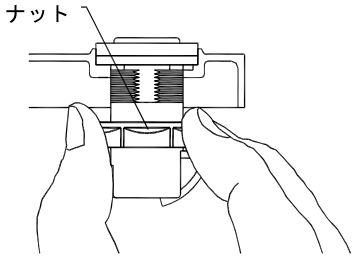
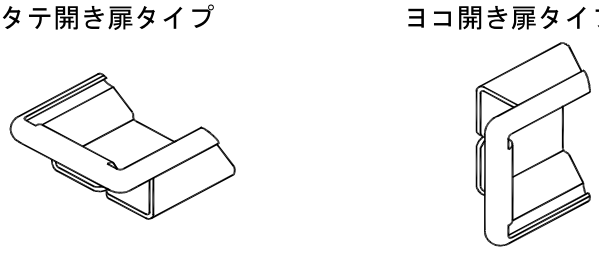


図5. 現行ストライク（1992年から製造）



現行ストライク以外のタイプが付いている場合は、(別紙)錠前をご注文される前に『ストライクについて』をご確認ください

旧ラッチロック錠取付説明書

METALWORK

注意:既存の郵便受けに化粧リングが付いていない場合、化粧リングを付ける必要はありません。化粧リングを付けると施錠できなくなる場合があります。

■取付方法

1) **錠前を解錠状態にします。**
ツマミを右に回して解錠状態にします。解錠状態になるとツマミ部分の穴がふさがり、ラッチが動く状態になります。（図1）

2) **取付穴に錠前を差し込みます。**
解錠状態の錠前をラッチ先端から取付穴にくぐらせて錠前を差し込みます。（図2）

3) **ナットを差し込みます。**
解錠状態の錠前にナットをラッチ先端からくぐらせます。（図3）

4) **ナットをねじ込みます。**
錠前のネジ方向に対して水平にナットをねじ込みます。（図4）

5) **工具でナットを完全にしめ込みます。**

■取り外し方

1) **ナットをゆるめます。**

2) **錠前を解錠状態にし、ナットを引き抜きます。**

3) **解錠状態のまま、錠前取付穴から引き抜きます。**

■錠前の取り替え注意事項

◇ **つまみがCLOSE状態で扉を強く閉めると錠前が破損します。**
必ずOPENの状態であることを確認をしてから扉を閉めてください。

◇ **ストライクの形状にご注意くださ**
現行ストライク以外のタイプが付いている場合は、鍵のかかりを調整する必要があります。（図5）

※ 詳しくは(別紙)錠前をご注文される前に『ストライクについて』をご確認ください。

※弊社郵便受（適応型式あり）以外では使用しないでください。

図1. 錠前を解錠状態にします。

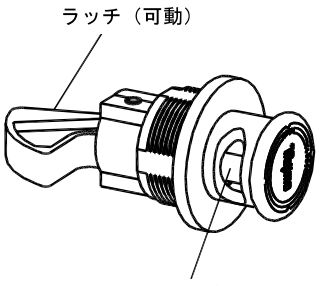


図2. ラッチ先端を取付穴にくぐらせます。

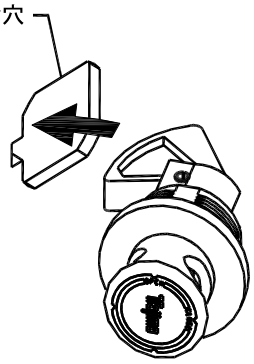


図3. ラッチにナットをくぐらせます。

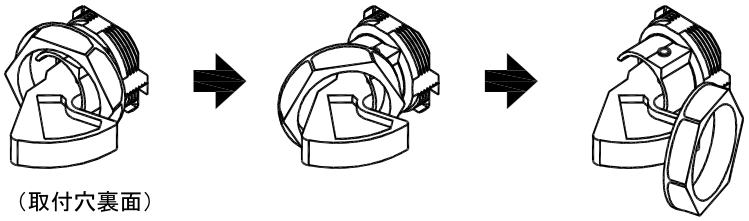


図4. ナットをねじ込みます。

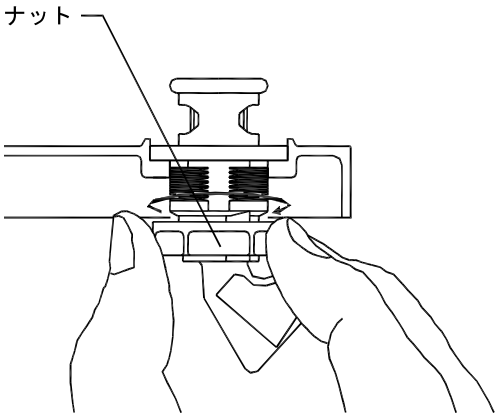
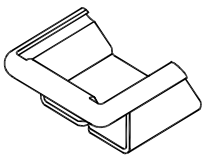
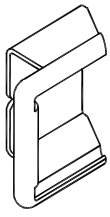


図5. 現行ストライク（1992年から製造）

タテ開き扉タイプ



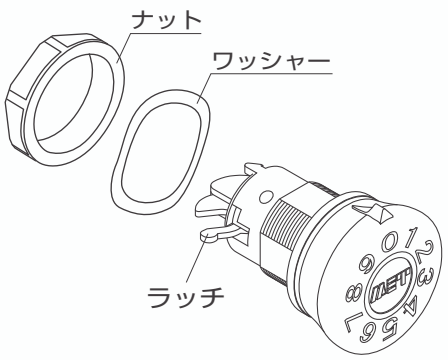
ヨコ開き扉タイプ



現行ストライク以外のタイプが付いている場合は、(別紙)錠前をご注文される前に『ストライクについて』をご確認ください

軽音UDダイヤル錠　取付説明書

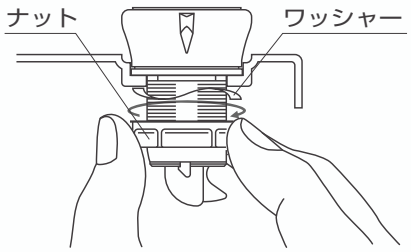
■取り外し方

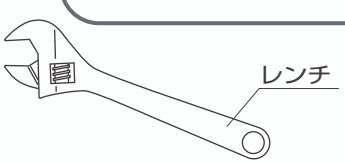


1レンチ等の工具を使ってナットを緩めます。

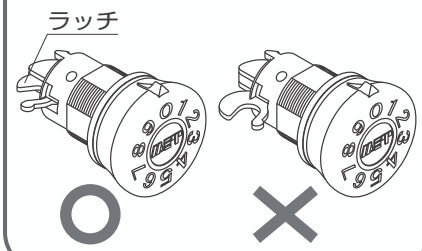
2ナットとワッシャーを外します。

3錠前を扉の表面から引き抜きます。





＊ラッチが下がった状態で取り外すことはできません。その場合は、指でラッチを押し上げてください。

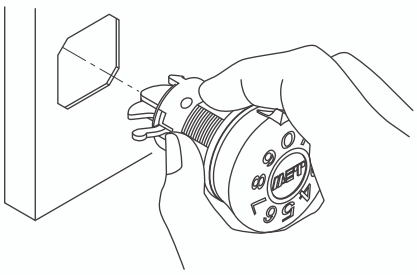


■取り付け方

1ラッチが上がった状態で扉の表側から取付穴にラッチをくぐらせそのまま差し込みます。

2錠前の後ろ側からワッシャー、ナットの順にくぐらせます。

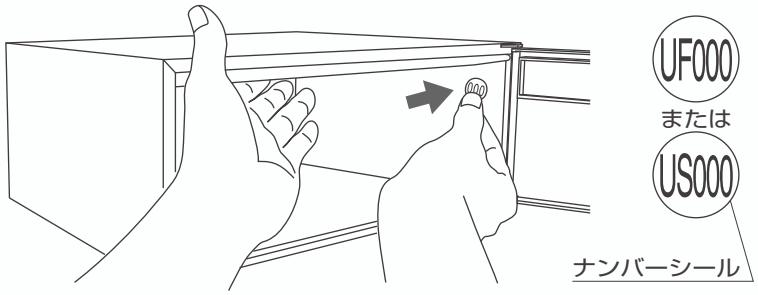
3錠前のネジ方向に対して水平にナットを締めます。
レンチ等の工具で完全に締め込みます。



◇ナンバーシールを貼ってください

同封の丸いナンバーシールは錠前を管理する番号です。必ず所定の位置（本体内部右側面）に貼ってください。

※解錠番号シールが貼ってある説明書は、保管してください。

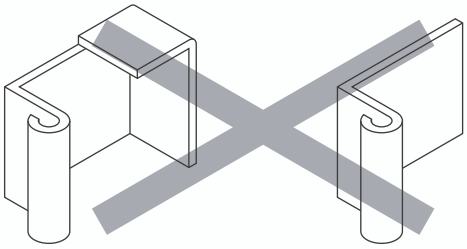


■錠前の取り替え注意事項

◇旧タイプの鍵受けには使用できません

製品に旧タイプの鍵受けが付いている場合、本錠前を使用することができません。

＊詳しくは弊社までお問い合わせください。



※弊社郵便受（適応型式有り）以外では使用しないでください。

田島メタルワーク株式会社

本　　社　〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル TEL03-5396-7621(代)

埼玉営業所 TEL048-291-3222(代) FAX048-297-0791
横浜営業所 TEL045-470-5388(代) FAX045-473-0207
名古屋営業所 TEL052-955-3807(代) FAX052-955-3887
大阪営業所 TEL06-6533-2071(代) FAX06-6533-2074
福岡営業所 TEL092-504-4475(代) FAX092-504-4482

'11.05

軽音ラッチロック錠取付説明書

■取付方法

1) **錠前を解錠状態にします。**
ツマミを右に回して解錠状態にします。解錠状態になるとツマミ部分の穴がふさがり、ラッチが動く状態になります。（図1）

※ ラッチが下がった状態で差し込むことはできません。その場合は、指でラッチを押し上げてください。

2) **取付穴に錠前を差し込みます。**
解錠状態の錠前をラッチ先端から取付穴にくぐらせて錠前を差し込みます。（図2）

3) **ナットを差し込みます。**
解錠状態の錠前にウェーブワッシャー、ナットをラッチ先端からくぐらせます。

4) **ナットをねじ込みます。**
錠前のネジ方向に対して水平にナットをねじ込みます。（図3）

5) **工具でナットを完全にしめ込みます。**

■取り外し方

1) **ナットをゆるめます。**

2) **錠前を解錠状態にし、ウェーブワッシャー、ナットを引き抜きます。**

3) **解錠状態のまま、錠前取付穴から引き抜きます。**

■錠前の取り替え注意事項

◇ **つまみがCLOSE状態で扉を強く閉めると錠前が破損します。**
必ずOPENの状態であることを確認をしてから扉を閉めてください。

◇ **ストライクの形状にご注意ください。**
現行ストライク以外のタイプには使用できません。（図4）

※ 詳しくは(別紙)錠前をご注文される前に『ストライクについて』をご確認ください。

※弊社郵便受（適応型式あり）以外では使用しないでください。

図1. 錠前を解錠状態にします。

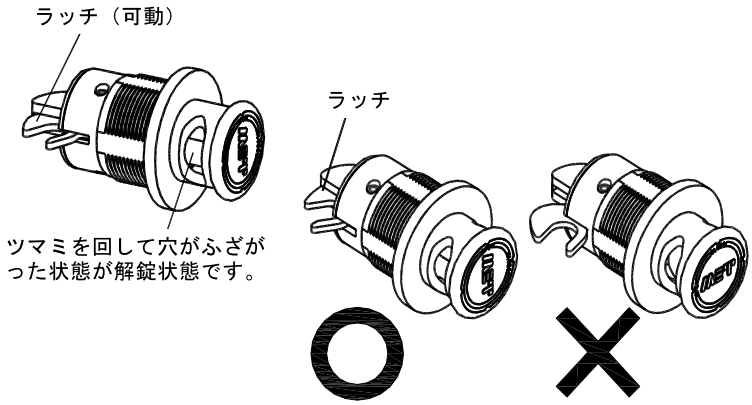


図2. ラッチが上がった状態でラッチ先端を取付穴にくぐらせます。

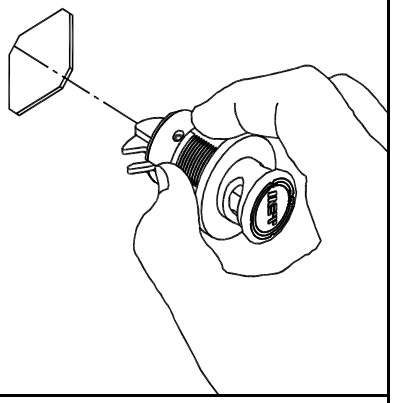


図3. ナットをねじ込みます。

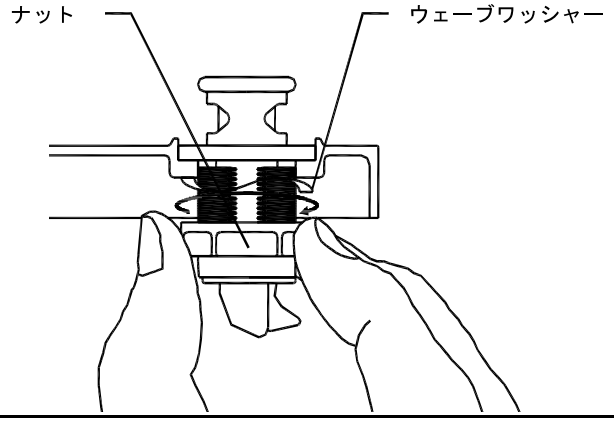
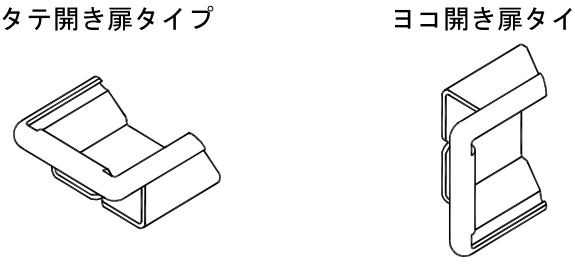


図4. 現行ストライク（1992年から製造）



現行ストライク以外のタイプには使用できません